令和 8 年度一般財団法人公立学校共済組合友の会 給付型奨学金支給事業実施要項

令和 7 年 7 月 16 日

1. 本実施要項について

本実施要項は、一般財団法人公立学校共済組合友の会（以下「友の会」という。）が行う本事業の内容、令和 8 年度から学生への支給を開始するために令和 7 年度中に行う手続等について記載したものである。

2. 事業の目的

一般財団法人公立学校共済組合友の会給付型奨学金支給事業（以下「本事業」という。）は、全国的に深刻化している教員不足の問題に鑑み、指定大学及び教育委員会の協力のもと、教員志望の学生に対し、その経済的負担を軽減するための奨学金を支給することにより、未来を担う教員育成の一助とし公教育の維持・発展に寄与することを目的とする。

3. 実施主体

本事業は、友の会が指定大学と協力して実施する。

4. 事業の名称・略称

本事業の名称は「一般財団法人公立学校共済組合友の会給付型奨学金支給事業」とし、略称を「友の会奨学金」とする。

5. 支給内容

- (1) 返済不要の給付型奨学金
- (2) 支給金額は、1 人当たり 4 年間で総額 48 万円（年 2 回に分けて支給予定）
- (3) 支給対象者数は、原則として各都道府県 4 人以内
- (4) 他の奨学金との併用可

6. 奨学金の財源

本事業は、令和 7 年度から公立学校共済組合友の会会員の会費、並びに寄付金、協賛金等を主な財源として実施するものである。

指定大学数、支給対象者数については、財源の状況を勘案して毎年度決定する。

一度指定した大学や支給対象者については、特段の事情がない限り、継続するものとする。

7. 大学の指定

- (1) 大学の指定方法

友の会は、都道府県・政令市等教育委員会と連携し、令和8年度入学者を対象とした「地域教員希望枠」等の入学試験を実施する大学の中から、指定候補大学を選定する。

(2) 指定候補大学

令和8年度の各指定候補大学については、下表のとおりとする。

なお、奨学生数については、各都道府県で4人以内であるが、大学が都道府県内で複数となった場合（令和8年度においては島根県）は、友の会がその範囲内で奨学生の人数を調整する。

No.	指定候補大学名
1	北海道教育大学
2	宮城教育大学
3	山形大学
4	千葉大学
5	上越教育大学
6	福井大学
7	山梨大学
8	三重大学
9	滋賀大学
10	島根大学
11	島根県立大学
12	岡山大学
13	長崎大学
14	熊本大学
15	宮崎大学
16	琉球大学
計	16 大学

(3) 大学の指定

上記指定候補大学における、本事業の実施の可否については、友の会が当該大学に対し実施の意向を確認し、同意を得た後に当該大学を指定する。

8. 手続

- (1) 指定大学は、「地域教員希望枠」で入学した大学生の中から友の会奨学金を受給することを希望する者を募り、原則4人以内を選抜するとともに、友の会に推薦者リストを送信し、関係書類を送付する。
- (2) 友の会は、その採否を本人及び当該大学に通知するとともに、支給を開始する。
- (3) 応募資格は、「地域教員希望枠」により入学した者とし、その他、友の会としては、成績や経済的な要件を問わないものとし、大学からの推薦者（選定方法は、大学に一任）を尊重して決定する。

- (4) 奨学生が大学を退学したときは、在籍した最後の月の支給分をもって奨学金の支給を停止するものとし、翌月分以降の既支給金があるときは、返還を求める。
- (5) 奨学生が大学を卒業し教員とならなかった場合、あるいは学業不振等により卒業できなかった場合であっても、友の会は奨学生に奨学金の返還は求めない。また、休学期間中も支給するが、当該奨学生に対する総支給額は、48万円を上限とする。
- (6) 奨学生が在学中に、教員になることを明確に断念した場合、本人の申し出により、申し出月の翌月から奨学金の支給を停止する。
- (7) 上記(6)の奨学生の代わりに、他の学生をその残任期間で奨学生にするかどうかについては、友の会と当該奨学生が在籍する指定大学とで協議した上で決定する。

9. 募集要項

別に示す。

10. 指定書

友の会は、指定大学に対し指定書を送付する。

11. 主なスケジュール（予定）

- (1) 友の会は、令和7年度中に指定大学と事業準備を行い、令和8年度入学生から4年間の支給を開始する。
- (2) 以降の年度も同様に新入生に支給していくこととする。
- (3) 令和7年度から令和8年度にかけての主なスケジュールは次のとおり。

○令和7年度

6月	指定候補大学へ連絡（説明は個別に行う）
7月	大学の意向を確認し、指定書を送付
指定大学公表
指定大学で広報活動開始

○令和8年度

5月末	大学から友の会に奨学生候補者を推薦
6～7月	友の会が奨学生決定、支給開始（半年分）

12. その他

- (1) 本事業は、友の会会員の会費の一部や寄付金等を財源に実施するものであり、指定大学は、会員及び寄付者の拡大に可能な範囲で協力する。
- (2) 奨学生は、友の会の求めに応じて、在学状況等を報告するとともに、本事業に関する情報交換会や広報等に可能な範囲で協力する。
- (3) 都道府県の枠を越えて「地域教員希望枠」を設定している大学については、大学が設置されている都道府県内で教員になることを希望している学生を推薦するものとする。
- (4) 都道府県内に「地域教員希望枠」をもつ大学がない場合は、令和8年度は対象とならないが、今後、財源の状況を勘案して検討する。